

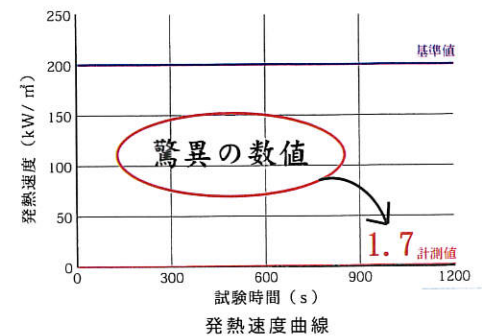
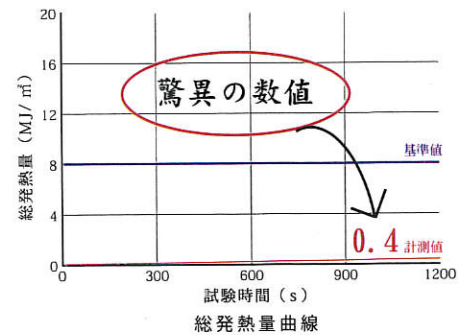
「不燃耐火被膜剤」の概要

この「不燃耐火被膜剤」は燃焼炉や釜戸を製造する際の原材料を主に使用しており、一般建築構造物の火災を防止し、もらい火にも耐え、さらに耐震要望にもお応えできる不燃被膜剤です。

従来、建築構造物の耐火にはアスベストが鋼材の被覆材として使用されてきましたが、弊社が開発した「不燃耐火被膜剤」は、高速鉄道や高速道路を支える鋼材やコンクリート製の橋桁、橋脚、トンネル内壁に至るまでアスベスト代替に十分貢献する商品です。国土交通省認定試験場建材試験センターの建築基準法試験において**適合基準をはるかにしのぐ数値**で合格しました。(右グラフを参照)

本来この商品は、パイプライン火災を防止するために世界でも有数の40～50の化学工場を保有する、トップ企業からの依頼を受けて開発したもので、化学コンビナート用パイプラインの熱による膨張を抑制する**断熱耐火被膜剤**としても大変優れた性能を発揮いたします。(国土交通大臣認定報告書による資料から)

建築基準法の安全検査認定機関である、一般財団法人建材試験センターの厳しい試験にも合格した実績を持つ商品です。担当試験官からは「大変素晴らしい結果」とお褒めの言葉をいただきました。



「不燃耐火被膜剤」の利点

1. この「不燃耐火被膜剤」は**人体に優しい原材料**を選びすぐり、使用しております。
2. かつて「不燃性接着剤」の開発に成功した実績をもとに、「**素材に密着し、剥離しない**」ということを根幹として開発いたしました。その結果使用範囲が広がり、建築構造物全般に使用できるようになりました。素材にしっかり密着するため、火災の際に熱で剥離して耐火性能を失うことがありません。
3. 鋼材用・コンクリート用・木建材用等、**各種材質に合った接着性能**を持つ「不燃耐火被膜剤」を用意しております。
4. 手の届きにくい建築構造物でもリシガンやエアレスガンなどの**スプレーガンによる塗布施工**が可能なたため、作業性に大変優れています。
5. 鋼材の**膨張を抑制**し火災防止が期待できます。鋼材が熱で膨張した後、冷却時に鋼材が縮む**減板**でも剥離しません。

「不燃耐火被膜剤」の用途

- 一般住宅・高層建築に最適
- 火に弱いとされるセメントやコンクリートの橋脚・橋桁に最適
- 化学コンビナート施設の鋼板、備蓄タンクの断熱、鋼材の熱膨張抑制に最適



不燃耐火被膜剤「スーパー FX3200-1-15」(左)
不燃耐火被膜剤「スーパー FX3200-1-16」(右)

※予告なしに変更する場合があります。